

協同組合
秋田県北
木材センター

秋田杉集成材加工工場が完成

大館市工場等設置促進条例の指定工場に

問 49 3111

農林課（内線291）
商工課（内線287）

協同組合秋田県北木材センター（理事長・高嶋昭二氏）が川口地内で昨年9月から建設を進めていた「秋田杉集成材加工工場」が完成し、4月1日から操業を開始しました。本市の基幹産業の一つである林業を取り巻く状況が大変厳しい中で、本工場の完成は地域産業の活性化に向け、大いに期待されています。

秋田杉集成材加工工場の建設は、市場ニーズが高まっている集成材を生産・販売することが目的です。特に秋田杉は、外材と比べ耐久性に優れているといわれており、同工場では秋田杉を主体に取り扱うことで、本市を含む米代川流域の林業振興につなげようとするものです。

工場は、同センターの旧加工工場跡地に建設されました。木造平屋建て、延べ面積2,994㎡の加工場、原板保管倉庫、乾燥室などからなっています。事業費は約11億4,000万円。林野庁の国庫補助事業である「林業・木材産業構造改革事業」の助成で50%、

県と本市を含む米代川流域の10市町村がそれぞれ15%を補助し、同センターが20%負担しています。同センターの計画では、平成16年度に稼働率50%で3億2,000万円、17年度80%で5億2,000万円、18年度からフル稼働し6億5,000万円の売上高を見込んでいます。従業員数は24人でうち新規雇用者は9人です。

本市では、操業を開始した4月から、同工場を「大館市工場等設置促進条例」に基づき、指定工場として指定しました。これにより同工場は、固定資産税の3年間減免などの優遇制度を利用することができます。

大館市工場等設置促進条例に基づき指定工場の要件次の要件をすべて満たした工場等が、指定対象となります。大館市内に工場・研究施設等を増設すること。土地代を除く「投下固定資本」が1,900万円を超えること。新たに雇用する常用の従業員数が5人以上（地元企業は3人以上）であること。

協同組合秋田県北木材センターの概要

所在地 大館市川口101番地1
創 立 昭和48年
出資総額 5,460万円
組合員数 44人
組合の地域

大館市、鹿角市、北秋田郡
山本郡、青森県三戸郡

